

みえスタディ・チェックの結果（概要）

本年4月19日に実施した「みえスタディ・チェック」の結果を、先週末、1・2年生の各生徒に返しました。「みえスタディ・チェック」は、児童生徒に確かな学力を育むため、三重県教育委員会が実施している学力テストで、県内の小学校4・5年生と中学校1・2年生が対象となっています。実施教科は、国語、算数・数学、理科で、前年度の学習内容の中から、主に知識を「活用」する問題が出題されています。

先日、三重県教育委員会から県全体の分析結果の送付があり、学校では、本校と県全体の問題別の平均正答率や無解答の状況を比較するなどして、これまでの学習活動の成果や課題の分析を行いました。

今回の分析結果については、今後、学校全体で、各学年、各教科の指導の充実に生かします。

以下に、学年別の結果の概要を掲載しましたので、各ご家庭におかれましては、先に配付した「個人票」と合わせてご覧いただき、お子様の頑張りをお認めいただき、課題を克服できるように励まし、家庭での学習習慣や生活習慣の確立につなげていただきますようお願いいたします。

みえスタディ・チェックについて

- ◆目的：児童生徒が自らの学習内容の定着状況を確認し、目標を持って主体的に学習に取り組む意欲を育む。
- ◆実施日：平成28年4月19日（火）
- ◆対象：三重県の小学校4・5年生、中学校1・2年生
※同日、全国学力・学習状況調査が、全国の小6、中3を対象に実施されました。
- ◆教科：国語、算数・数学、理科
- ◆内容：前年度までの学習で身に付けた知識・技能を活用する力を問う問題
※知識・技能等に関する問題も一定の割合で出題される。
- ◆その他：平成29年2月1日（水）に、小5、中2を対象として第2回目が実施されます。
教科は、国語、算数・数学です。

1年生の結果（概要）

1年生全体の結果は、表1-1のとおりです。国語は、三重県の平均正答率を3.3ポイント上回っており、学年全体として、小学校の学習内容の定着状況は三重県平均以上と見られます。数学では、三重県の平均正答率を下回ってはいるものの、その差は0.4ポイントと小さく、学習内容の定着状況はおおむね県平均並みと見ることができます。一方、理科については、平均正答率が40%未満であるとともに、三重県の平均正答率を2.9ポイント下回っており課題が見られます。今後、授業や家庭学習で、定着できていない学習内容の振り返りを行うことが必要です。

（表1-1）平均正答率の比較 [1年生]

教科（問題数）	城田中	三重県	差
国語（13問）	72.5%	69.2%	+3.3
数学（18問）	60.8%	61.2%	-0.4
理科（20問）	39.6%	42.5%	-2.9

※各教科の問題数は、国語が13問、数学が18問、理科が20問です。

※平均正答率は、平均正答数（生徒が正解した問題数の平均値）を問題数で割り、百分率で表しています。

※「差」の欄の数値は、城田中の平均正答率から三重県全体の平均正答率を引いた値を表しています。

各教科の問題別の平均正答率について、本校と三重県とを比較すると表1-2の通りとなります。

- **国語**の問題数は13問です。平均正答率が三重県平均を上回っている問題は13問中8問、下回っている問題は5問です。この内、県平均と5ポイント以上の差がある問題は、それぞれ5問、1問です。

また、「3二(2)」と「4一」の2問については、10ポイント以上県平均を上回っており、学年全体として学習内容の定着の良好な状況が見られます。

※3二(2)：文学的文章を読み、優れた叙述について自分の考えをまとめる問題（記述式）

※4一：体育祭の案内文で、文章の間違いを正し、適切な表現に改める問題（選択式）

- **数学**の問題数は18問です。平均正答率が三重県平均を上回っている問題は18問中10問、下回っている問題は8問です。この内、県平均と5ポイント以上の差がある問題は、それぞれ3問、4問であり、4問中1問「2(3)」は、11.7ポイント県平均を下回っており、振り返りの学習が必要です。

※2(3)：図形の一部と対称の中心が与えられたときに、点対称な図形の残りの頂点の位置を求める問題（選択式）

- **理科**の問題数は20問です。平均正答率が三重県平均を上回っている問題は20問中8問、下回っている問題は12問です。この内、県平均と5ポイント以上の差がある問題は、それぞれ1問、7問であり、7問中3問「1(4)、3(5)、4(2)」は、それぞれ10ポイント以上県平均を下回っており、学習内容の定着を図るための振り返りが必要です。

※1(4)：回路に流れる電流の強さを調べるための適切な実験器具を答える問題（短答式）

※3(5)：袋に呼気を吹き入れた時に見られる現象から、呼気に含まれる物質の名称を答える問題（短答式）

※4(2)：雲の量から天気を判断する際の指標となる、空の広さと雲の量の関係を答える問題（選択式）

(表1-2) 問題別の平均正答率に関する本校と三重県との比較の状況 [1年生]

教科 (問題数)	三重県の平均正答率との比較	問題数	差が5ポイント以上の問題数	差が10ポイント以上の問題番号
国語 (13問)	三重県を上回る	8問	5問	3二(2)、4一
	三重県を下回る	5問	1問	—
数学 (18問)	三重県を上回る	10問	3問	—
	三重県を下回る	8問	4問	2(3)
理科 (20問)	三重県を上回る	8問	1問	—
	三重県を下回る	12問	7問	1(4)、3(5)、4(2)

※問題別の平均正答率は、正答の生徒数を全体の生徒数で割った値を百分率で表したものです。

※三重県の平均正答率との比較は、城田中の平均正答率が県平均を「上回る」「下回る」という意味です。

※各欄の数値は問題数を表しています。「—」は該当する問題がないことを表しています。

2年生の結果 (概要)

2年生全体の結果は、表2-1のとおりです。国語、数学、理科の各教科で、それぞれ6.2ポイント、6.4ポイント、1.0ポイント三重県の平均正答率を上回っており、学年全体として、前年度までの学習内容の定着状況について良好な結果が見られます。

ただし、理科については、平均正答率が三重県同様50%未満となっており、定着できていない学習内容の振り返りが必要です。

(表2-1) 平均正答率の比較 [2年生]

教科 (問題数)	城田中	三重県	差
国語 (15問)	71.0%	64.8%	+6.2
数学 (18問)	63.0%	56.6%	+6.4
理科 (20問)	42.1%	41.1%	+1.0

※各教科の問題数は、国語が15問、数学が18問、理科が20問です。

※平均正答率は、平均正答数(生徒が正解した問題数の平均値)を問題数で割り、百分率で表しています。

※「差」の欄の数値は、城田中の平均正答率から三重県全体の平均正答率を引いた値を表しています。

各教科の問題別の平均正答率について、本校と三重県とを比較すると表2-2の通りとなります。

- **国語**の問題数は15問です。平均正答率が三重県平均を上回っている問題は15問中12問で、この内8問は5ポイント以上県平均を上回っています。さらに、「1三ア」、「2二」、「2三」、「3一」、「3三」の5問については、三重県の平均正答率を10ポイント以上上回っており良好な状況も見られますが、「2二」は平均正答率が37.5%、「2三」と「3三」は平均正答率がいずれも50.0%に留まっていることから、一層の定着が必要です。また、平均正答率が県平均を下回っている問題は3問です。

※2二：説明的な文章を読み、中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要旨を捉える問題（短答式：□に当てはまる言葉を、文章中から12字で抜き出す。）

- **数学**の問題数は18問です。平均正答率が三重県平均を上回っている問題は18問中15問で、この内10問は5ポイント以上県平均を上回っています。さらに、「1(2)」、「2(1)」、「2(3)」、「4(1)」、「4(2)」、「4(3)」、「5(1)」の7問については、三重県の平均正答率を10ポイント以上上回っており、学習内容の定着の良好な状況が見られます。ただし、「2(3)」の平均正答率は35.7%であり、一層の定着が必要です。また、平均正答率が県平均を下回っている問題は3問で、その内の1問(3(3))は7.8ポイント県平均を下回っており、振り返りの学習が必要です。

※2(3)：三角柱の1辺と垂直な面をすべて答える問題（短答式）

※3(3)：牛乳パックの回収活動で、作業時間と作業人数の関係を表す式の意味を理解し、条件に合わせて作業時間を1/2にするための方法を選択し、それが正しい理由を数学的な表現を用いて説明する問題（記述式）

- **理科**の問題数は20問です。平均正答率が三重県平均を上回っている問題は20問中13問、下回っている問題は7問です。この内、県平均と5ポイント以上の差がある問題は、それぞれ6問、2問です。県平均を10ポイント以上上回っている1問「3(4)」は、平均正答率自体も85.7%であり、学習内容の定着の良好な状況が見られます。

なお、「1(2)」、「1(4)」、「2(5)」、「4(2)」の4問の平均正答率は、それぞれ3.6%、3.6%、1.8%、19.6%で、県同様、特に低くなっています。これらについては、三重県の平均正答率を5ポイント以上下回っている2問「1(1)」、「4(4)」と合わせて、再度問題を解き直し、確実な理解と定着に結び付ける必要があります。

※3(4)：顕微鏡で観察した葉の表皮に見られる三日月形の細胞で囲まれたすき間の名称を答える問題（短答式）

※1(1)：物体に働く重力の大きさを、図に矢印(→)で書き入れる問題（短答式）

※1(2)：ばねの伸びとばねに働く力の関係についての考察の誤りを理解し、適切な表現に改める問題（記述式）

※1(4)：実験の結果から、水に沈める物体の重さと物体に働く浮力の関係について説明する問題（記述式）

※2(5)：溶解度のグラフを基にして、物質をすべて溶かすことができる水の質量を推測する問題（短答式）

※4(2)：再結晶の比較実験の結果から、火成岩のできた場所やマグマの冷え方について説明する問題（記述式）

※4(4)：モデル実験の結果から、水を混ぜた石こうの粘度や流れやすさについて考察し答える問題（選択式）

〔表2-2〕問題別の平均正答率に関する三重県との比較の状況〔2年生〕

教科（問題数）	三重県の平均正答率との比較	問題数	差が5ポイント以上の問題数	差が10ポイント以上の問題番号
国語（15問）	三重県を上回る	12問	8問	1三ア、2二・三、3一・三
	三重県を下回る	3問	—	—
数学（18問）	三重県を上回る	15問	10問	1(2)、2(1)(3)、4(1)(2)(3)、5(1)
	三重県を下回る	3問	1問	—
理科（20問）	三重県を上回る	13問	6問	3(4)
	三重県を下回る	7問	2問	—

※問題別の平均正答率は、正答の生徒数を全体の生徒数で割った値を百分率で表したものです。

※三重県の平均正答率との比較は、城田中の平均正答率が県平均を「上回る」「下回る」という意味です。

※各欄の数値は問題数を表しています。「—」は該当する問題がないことを表しています。